



勇気の源

校長 三杉 紀文

厳しい寒さもやっと終わりが近づいてきたようで、待ち望んだ春がそこに来ています。ただ、昼夜の寒暖差も大きく、日中は暖かくても、朝夕はまだまだ寒くて体調を崩しやすい季節です。体調管理には引き続き気を付けたいものです。

さて、この3学期は気温こそ低かったものの、心が温くなるハートフルな出来事がありました。

1月中旬の強風の日、本校2年生の男子生徒が、学校が終わって家に帰宅してから再び外出したところ、強風の影響を受けたのか高齢の男性の方が踏切近くで倒れている姿を見かけたそうです。男子生徒はとっさに「大丈夫ですか」と声を掛け、倒れていた男性が立てるように手を貸しました。すると、ちょうど踏切の警報機が鳴って遮断機がおり、2人とも遮断機の内側になってしまったそうです。男子生徒は急いで男性をつかんで遮断機の外側へ避難しました。ところが今度は男性が道路の真ん中で尻もちをつかれてしまいました。そこへ車が来てしまっただけで危険なため、男子生徒は走ってきた車に止まってもらうように呼びかけました。車の運転手もすぐに車を止めて「大丈夫か」と駆け寄ってくれたそうです。そこで男子生徒は119番通報で救急車を要請したそうです。踏切で警報機が鳴り遮断機も下りてしまったという緊急事態の中、冷静に判断して行動できた男子生徒の行動と勇気を大変頼もしく感じました。

また、1月からは入試に臨む3年生へのエールがありました。入試に臨む3年生には「合格できるだろうかな」などの不安が生じやすく、少なからずプレッシャーを感じるところです。そんな3年生へ3年生自身が仲間への応援メッセージを書き、教員からのメッセージとともにリングで綴って一人一人にお守りとして渡されました。

さらに2年生・1年生からも合格祈願としてそれぞれ3年生への応援メッセージが、代表生徒を通じて学級ごとに手渡されました。

心の中を不安が覆い、自信を失いかけた時、周囲の支えの存在は不安を払い、勇気の源となってくれることが少なくないはずです。私たちは、家庭や地域とともに、日々の教育活動を通じて生徒たちがこれから生きていく上での勇気の源を少しでも拡充させていきたいと考えています。

